

「水に親しみ体力Up + 命を守る！」



CORONA 禍の影響で様々な行事、学習が変更等を余儀なくされる中、16日(火)に無事プール開きを実施することができました。

水泳運動系の学びには、浮く、呼吸する、進むなどの課題を達成し、水に親しむ楽しさや喜びを味わうことができるという特徴があります。また、より現実的な安全確保に繋がる運動の経験として、着衣をしたままの水泳運動＝着衣泳を取り入れて行くことも求められています。水の事故から「命を守る」という学びは、CORONA 対策と同じ重さをもっていると言えるでしょう。その証拠に、平成30年度の統計(警視庁まとめ)では、全国の川や海で22名(水難者は193名)もの小中学生の尊い命が奪われているのです。

この夏、子供達には、単に泳ぎの習得だけではなく、「命の大切さ」という事にも思いを馳せながら水泳の学習に臨んで欲しいと考えています。尚、1学期が7月31日までとなり、水泳学習が遅い時期までとなりますので、PTA 主催の夏休みのプール開放は行いません。ご理解のほどお願いします。



6年生と1年生 交流プール開き



6/2 プール掃除:5~6年生が頑張ってくれました!

【時の記念日に想う】

今月10日は、時の記念日でした。時間を尊重し、生活の改善・合理化を進める目的で、1920年6月10日に設定された記念日だそうです。西暦671年4月25日(太陽暦の6月10日)に、天智天皇が初めて漏刻を実用に供した故事にちなんでいるのだとか。

さて、私が尊敬して止まないある大学野球部の監督さんが、こんなお話をされていました。

「世間では、平等、平等とよく言うけれど、私はこの世界に平等というものはないと思っている。ただ一つだけあるとすれば、誰にでも1日24時間が与えられているということだ・・・」と。

この下りの趣旨は、みな等しく与えられている24時間という時間を、如何に有効に使い努力(勉強や自主練習)をするかという意図をもちお話しになったことだと理解しています。

さて、季節は進み、あと数日で夏至。一年で一番昼間の長い時に差し掛かろうとしています。もう、5時前には夜が明けているこの時期です。そう言えば、かれこれ15年ぐらい前になるでしょうか。息子が小学校高学年の頃、早朝ジョギングを一緒にしていたことをふと思い出しました。

目的は、①努力は裏切らない②継続したという自信こそがここ一番の力になる。

という2つのことを体感して欲しいと思った次第。みなさんも親子で新しい何かを始められては如何でしょう。時間は使い方次第。後々、忘れられない素敵な思い出になることも請け合いです。(*^o^*)



ホッと一息(感謝の巻)

今年度に入り、地域の皆様から一番多くかけられた言葉は何だと思いますか?それは、

「大変ですねえ〜〜〜！」

という言葉。たったこれだけの言葉ですが、この中には、学校に対する優しく深い思い、応援の気持ちが込められていると強く感じました。私達にとって最高のモチベーションになります。この気持ちに答えるべく、職員、児童が一つになってCORONA禍を乗り切って行きたい。そう思う今日この頃です。**頑張ります!**

